UI設計のためのHTMLデザイン パターン



株式会社東芝

日野克哉

katsuya.hino@toshiba.co.jp

開発における問題点

HTMLは同じ外見でも複数の記述ができるが、開発するアプリケーションによって適切な記述は異なってくる。またHTML5ではUIの意味を解釈してセマンティックな構造にすることが望まれる。このように状況に応じて適切なHTMLを記述するにはノウハウが必要で、属人性が高い。



手法の適用による解決

複数の解決方法から適したものを選択する指針であるデザイン パターンとして、HTMLを記述のノウハウを形式化した。形式化により組織内で共有されやすくなるほか、アプリケーションが重視する事柄によって変わる適切なHTMLの記述方針を素早く選択できるようになる。

「HTML UI Design Patterns」におけるパターンの概略

文脈 問題

Designing Interfaces^[1] のUIをHTMLで記述 HTMLで記述する際の 諸問題

重視する事柄(フォース)

 一般向けサイト
 SEO
 様々な閲覧環境

 組込みUI
 制限された環境
 軽量

 見た目重視
 CSSの適用

解決策

HTML記述方針 使用HTML要素 要素の入れ子構造 要素の属性 その他の注意事項



[1] Jenifer Tidwell (著), 浅野紀予 (訳), "デザイニング・インターフェース 第2版", オライリー・ジャパン, 2011.

ドロップダウンリストを設置するパターンの例

名前 カスタム <mark>ボタン</mark> ドロップダウンリスト

Select one

Select one

Male
Female
Not specified

文脈 ドロップダウンリストを設置する

問題 CSSでselect要素の外見を変更できない

フォース すべてのブラウザで外見を統一する。 しかしブラウザによっては外見が統一されることで 使いづらくなることがある。

解決策 ドロップダウン リストにはselect要素を使い、収縮時の外見はHTML要素で独自に作成する。

HTML 構造

任意の要素《カスタム ボタン》 (収縮時の外見を表現する)

select要素《ドロップダウンリスト》 (透明にして《カスタムボタン》の上に重ねる) 名前 カスタム <mark>リスト</mark> ドロップダウン リスト

Select one

Select one

Male
Female
Not specified

文脈 ドロップダウンリストを設置する

問題 CSSでselect要素の外見を変更できない

フォース すべてのブラウザで外見を統一する。 PC向けのマウス操作を前提としたサイトであり、

PC同りのマウス操作を前提としたサイトであり、 ドロップダウン時のデザインも重視する。

解決策 ドロップダウン リストにはselect要素を使い、収縮時と ドロップダウン時の外見をHTML要素で独自に作成する。

HTML 構造

任意の要素 《カスタム ボタン》

ul,ol要素 《カスタム リスト》 (ドロップダウン時の外見を表現する)

li要素《カスタム リスト項目》

select要素《ドロップダウンリスト》